

FD ニュース

2025 年 3 月発行



令和 6 年度第 1 回 FD 講演会

Topics

★令和 6 年度FD講演会

『学修管理システム（LMS）を使用したインタラクティブな学修空間の構築』 理工学部 中村 文紀 准教授

★今年度も開催！「日本大学学生FD CHAmmiT」 学生たちの要望に応えるための事後ミーティングに迫る

FD委員会では、年 1 回FDニュースを作成しています。本紙が本学部の教育環境改善に役立てば幸いです。

目次

- 表紙（1ページ）
- 令和 6 年度FD講演会（2 ページ）
- 令和 6 年度授業評価アンケート（2 ページ）
- 令和 6 年度日本大学学生FD CHAmmiT開催（2 ページ）
- 授業研究（3ページ）
- ランゲージラウンジ（3ページ）

ご挨拶

本学部における令和 6 年度の取り組みとして、「学習管理システム（LMS）を使用したインタラクティブな学修空間の構築」を演題とした FD 講演会や新任教員を対象とした授業研究などが実施されました。それから、学生が主体となって運営する「学生 FD CHAmmiT」が対面方式で通信教育部 1 号館にて開催されました。学生からの要望を纏めた「学部提案書」が作成され、それに基づき本学部で改善ミーティングを 2 回にわたり対面開催しました。参加した学生と教員、職員とが活発な討議がなされて、授業改善報告書も完成しました。

参加された学生及び教職員の皆様におかれましては、日本大学の教育の現状と課題を改めて認識する貴重な機会となったと思います。また、毎年、授業評価アンケートを実施しています。このアンケートは、各先生方の授業内容の振り返りや改善に向けての検討などに利活用される重要なデータとなります。半期授業終了毎に行い、その結果を教員にフィードバックし、それらに基づく次年度に向けた「授業改善計画報告書」に役立てていただいています。今回発行されます FD ニュースを通じて、本学の FD 活動や教員の教育に対する考えの理解を一層深め、教育環境改善と充実の一助になればと願っています。

FD 委員会 委員長 蓼沼 智行

令和 6 年度 第 1 回 FD 講演会 開催

令和 6 年 1 1 月 1 4 日(木)に令和 6 年度第 1 回 F D 講演会を開催しました。本学では令和 6 年度から全学共通学修管理システムとし Instructure 社の Canvas LMS SaaS 版の導入が決定したことを受け、学修成果を様々な観点から把握し評価方法や指標を学ぶ機会となりました。学修管理システム（LMS）は、学生の学修を

管理・支援するシステムです。この全学共通のシステムを導入することによって教学情報収集・分析基盤（D CAS）との連携が容易となり、全学的なオーダーメイド型サポートの仕組みが構築可能となります。さらに学修管理システムを共通化することで、メンテナンスやサポート体制を一元化することにより教職員の負担軽減が可能となります。本学部も

学修管理システム（LMS）の利用促進を図り、教学マネジメントの確立や内部質保証を実質化させるための適切な P D C A サイクルの確立に向け、教育の質向上を図ることを目的として開催されました。

当日は、一部の教員が学生役となり実際の LMS を使用した際の操作画面なども紹介されました。現在、本学部では、GoogleClassroom の使用が目立っているが、学修成果の把握などでは LMS が非常に優れていることがわかりました。



操作画面を見ながら LMS を学ぶ

講演会後は、LMS の使用方法の確認等を質問している様子も見えました。

本講演会をきっかけに、次年度以降、国際関係学部及び短期大学部（三島校舎）での LMS 普及が期待されます。

日時：2024/11/14（木）
場所：15 号館 1512 教室



演題：『学修管理システム（LMS）を使用したインタラクティブな学修空間の構築』

講師：理工学部
中村文紀 准教授

日本大学学生 FD CHAmmiT 開催

★今年で 1 2 回目の開催★

今年は、令和 6 年 9 月 2 9（日）に日本大学通信教育部 1 号館で開催しました。

★今年度のテーマ★

『～魅力・強みの再発見～
“日大”をどう生かす？』

学部提案書に基づく事後ミーティングは 2 回にわたり開催！昨年度は，学生の声が届き，提案の一部が現実 に！

昨年度は，事後ミーティングによって具体的な要望が固まりました。その結果，校舎の移動時間に配慮した休み時間の拡大や後学期履修登録の削除・追加期間の拡大，スマホの Wi-Fi 利用（1523 教室で使用可能）など学生からの生の声が届き，その結果，実現した事例が複数ありました。FD CHAmmiT のやりがいを感じた学生もいたのではないのでしょうか。

今年度は，1 1 月 2 7 日（水）及び 1 2 月 1 8 日（水）に事後ミーティングを実施しました。学部提案書には授業への要望が多く，学生・教職員で意見交換の結果，改善できる部分を具体的に話し合うことができ，有意義な時間となりました。特に 1 週目の授業の在り方について議論され，オリエンテーションのオンライン化などの声がありました。

FD CHAmmiT とは？

日本大学の学生・教員・職員が一堂に会し，日本大学の教育をより良くすることを目的としてテーマに基づいて学部や年齢立場の壁を超えて気軽な雰囲気です。当日はお菓子や飲み物を口にしながら「しゃべり場」と呼ばれるグループワークを行い，自由に意見を出し合います。最後はしゃべり場で話し合われた結果を自分の所属学部に対する 提案書としてまとめます。



参加者からのコメント
（教務課：鈴木佑汰）

他学部の学生や先生方の生の声を聞くことができ，とても有意義な時間を過ごすことができました。また，日本大学の教育の現状と課題を改めて認識することができた貴重な機会となりました。特に学生からの率直な意見や提案は，これから日本大学が発展していく上でとても貴重なものであると感じました。今回の FD CHAmmiT に参加した経験を活かし，学生・教職員と連携しながら日本大学の発展に貢献していきたいです。



事後ミーティングの様子

1 回目の参加者

学生 4 名,教員 5 名,職員 4 名 計 1 3 名

2 回目の参加者

学生 6 名,教員 5 名,職員 4 名 計 1 5 名

前学期授業評価アンケート実施

前学期の結果はこちら →



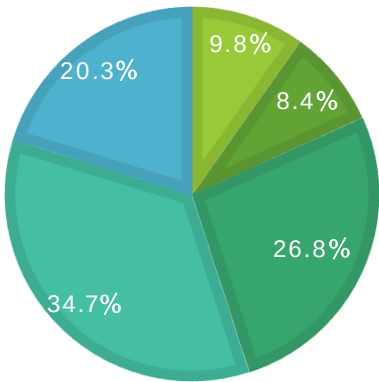
FD 委員会では年次計画の 1 つとして授業評価アンケートを毎年実施しています。授業評価アンケートは，各先生方の授業内容の振り返りや改善に向けて検討など非常に重要な材料となります。前学期は到達度確認期間となる 1 4・1 5 週目に実施しました。その結果，大学院 2 3 件，学部 9 8 3 4 件，短大 1 4 7 8 件の回答を集計することができました。お忙しいところ，ご協力いただきましてありがとうございました。

授業評価アンケートは，1 4 項目の設問に対して 5 段階の評価と授業に対する意見を回答（任意）することができます。今回の結果では，半数以上の項目で平均点が 4 点を上回る結果となり，学生からは一定の評価を得ることができました。これら結果は，各担当教員にフィードバックされ，今後の授業改善に大いに役立てられることとなります。

質問：この授業を 1 回受けるに当たり，授業時間以外で学修（予習，復習，課題等）にどのくらい取り組みましたか。

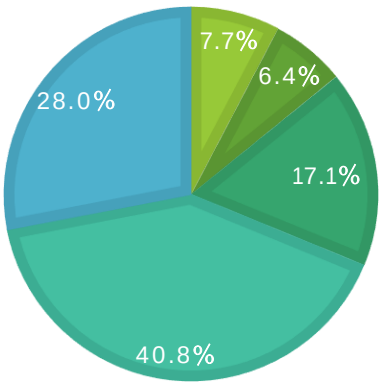
学部

- 3 時間以上
- 2 ～ 3 時間
- 1 ～ 2 時間
- 1 時間未満
- 取り組んでいない



短大

- 3 時間以上
- 2 ～ 3 時間
- 1 ～ 2 時間
- 1 時間未満
- 取り組んでいない



授業時間以外の学修で課題が残る結果に。

国際関係学部・短期大学部（三島校舎）ともに課題が残る結果となった設問が「この授業を 1 回受けるに当たり，授業時間以外で学修（予習，復習，課題等）にどのくらい取り組みましたか。」でした。（左図参照）

「取り組んでいない」，「1 時間未満」を合わせた割合がいずれも 5 0 % を超える結果となりました。後学期授業評価アンケート結果を確認し，改善されていないようであれば，次年度の授業改善計画報告書作成の際に十分に先生方に検討いただきたいと考えています。



新任教員対象の授業研究を実施

FD 委員会では、年次計画として「授業研究」を実施しています。授業研究の対象は、新任教員となります。

この授業研究は、1 つ目に新任教員が希望する授業を参観する。2 つ目にFD 委員が新任教員の授業を参観する双方で実施しています。

新任教員は、希望した授業の参観後に教材、授業、学修、授業内容等を中心に報告書を作成することとなっており、その報告書は FD 委員会で報告されます。

一方で FD 委員は、新任教員の授業を参観し、「声の大きさ」、「適切な表現」、「熱意」、「授業の進め方」、「質問への対応」、「板書」、「教科書・配付物」の7 つの点について5 段階で 評価し新任教員へフィードバックを行います。

フィードバックされた内容が今後の授業改善に活用できるよう努めています。

なお、今年度の対象者は、栗原ゆか先生、池田聖子先生、大沢啓徳先生でした。



報告書を記入



新任教員が参観した授業と受け入れた授業

参観授業

栗原ゆか先生
1 1 月 2 7 日 (水) 2 限
「英語リーディング」(細井健先生)

池田聖子先生
1 2 月 6 日 (金) 3 限
「異文化コミュニケーション論」(小川直人先生)

大沢啓徳先生
1 1 月 2 8 日 (木) 4 限
「文化記号論」(江川晃先生)

受入授業

栗原ゆか先生
1 1 月 2 7 日 (水) 1 限
「世界の言語」

池田聖子先生
1 1 月 2 5 日 (月) 3 限
「日本語Ⅲ」

大沢啓徳先生
1 1 月 2 7 日 (水) 5 限
「哲学」



令和 6 年度授業研究

新任教員を対象に授業参観を実施。FD 委員によるフィードバックを活かした改善を図る。



FD 委員が参観している様子



新たな形式も登場！
合同授業＆ランゲージラウンジ



中国語の「合同授業」の様子



ドイツ語ランゲージラウンジの様子

ランゲージラウンジに代わる
合同授業を実施！

語学教育検討委員会では、今年度もランゲージラウンジを開催しました。前学期は、スペイン語「今日、試験の不安解消しな〜い?」、ドイツ語「ドイツ語を学ぶ仲間を見つけよう」、後学期はドイツ語「ドイツ語やドイツ語圏の文化を学ぶ仲間を見つけよう」の実施となりました。

今年度よりランゲージラウンジに代わる新たな形式となる「合同授業」が中国語・フランス語で行われました。合同授業の目的は、言語の履修者を増やすこと、言語の魅力を伝えること、同じ言語を学ぶ仲間を増やすことなどランゲージラウンジと目的は大きく変わりませんが、授業内で実施することで大勢の学生に対して周知することができるメリットがあります。

中国語では、前学期と後学期にそれぞれ 1 回実施しました。中国語担当教員が得意分野とする書道、民族衣装、京劇、卓球、屋台などのコーナーを設置し、学生たちがそれらコーナーを回り、普段の授業と異なる場面で中国の文化や会話などを学びました。授業の最後には盧思先生と留学生の徐洪輝さんが中国の民族楽器を演奏しながら中国の水墨画を書くパフォーマンスを披露しました。

フランス語の合同授業は、後学期に実施しました。フランス語検定試験の 4・5 級の出題内容を題材とした文法問題の演習と会話のトレーニングを行い、基本的な文法知識と会話表現の定着を図りつつ、2 年次以降のフランス語関連科目の履修者増とフランス語学修意欲の向上、フランス留学への動機づけを図る目的として実施し、盛況に終わりました。

ランゲージラウンジ
ポスター紹介



ドイツ語ランゲージラウンジ



スペイン語ランゲージラウンジ

